

# 第1回教育課程編成委員会 報告書

日時：平成30年8月28日（火）14：00～

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：s o r a 伊藤秀一先生 スタジオ エーワン 小出誠司先生

松林校長 柏原教務主任 中澤主任

## 【議 事】

### 1. 校長挨拶

平成30年度の4月よりスタートし、1学期が終了しました。自己評価の中間報告として、平成30年度第1回自己評価委員会、学校関係者委員会を行ってまいりました。本日はそのご報告と職業実践専門課程の認定に向けて、先生方の忌憚ないご意見をお聞かせいただきたいと思っております。

### 2. 自己評価委員会、学校関係者委員会報告(別紙1)

平成30年度の重点目標についての中間報告

2学期に入ってから不安定な学生が出てきている。学校関係者委員会では、美容学校として楽しさを伝えていってほしいという意見をいただいた。職業に対する夢をもつように、個性を伸ばしていけるよう、先生方に指導していただきたい。という内容だった。また、ボランティア活動も良いきっかけになるので、機会があれば参加していきたい。

(小出先生)どのようなボランティアに参加されているのか。

NBSこどもまつり、日赤祭り、権堂キッズフェスティバルのほか、社会福祉の授業の一環である老人ホーム訪問を行っているが、ほかの施設より評判を聞いて依頼があった。休日であるため、希望者を募っているため、必然的にもともとやる気のある学生が参加している状態ではある。

### 3. 職業実践専門糧の推薦科目について

- ・カットは4月よりスタートし各サロンの先生が早めにいらしていただき、打ち合わせを行ってから授業に臨んでいるので、講師と職員共に共有できた状態である。
- ・カラーは10月よりスタートするが、5名の職員がシングルスター指導者講習を終え、授業に備えている。
- ・メイク、ネイルは授業前後に講師と職員による打ち合わせを行い、授業に臨んでいる。
- ・コミュニケーションはコミュニケーションの講師でいらしていただいている峯岸先生に協定を結んで頂いた。授業前後に打ち合わせは行っているが、更に講習できる機会を設けていく予定である。松本校では、様々な環境から、さまざまな個性のある学生に対し、個々への声掛けや対応の仕方の講習会をしていただいて大変好評だったようだ。

また、美容業界とは別の講習をと企画し、12月にリッツカールトンの高野さんをお願いしている。更に、情報化社会のため、悪い情報をうのみにしないようなメディアリテラシー(メディア教育)を行いたい。

#### 4. 学生アンケートについて

- ・学科外来講師の授業に対してのアンケートをとり、講師の先生に今後の授業に活かしていただく予定。
- ・学生に対しての興味アンケートでは、保護者とのかかわりが強く、保護者へのアピールも重点課題である。オープンキャンパスでは、校長が担当しアピールしている。

(伊藤先生)美容師からの発信も大変重要であると思う。美容師自体が楽しく、良い仕事であると思うこと、また地元の長野理容美容専門学校が大変すばらしい学校であるということ、アピールしていくのも大事である。

美容師の皆さんにご理解ご協力いただくにはどのような方法がよいか。

(伊藤先生)理事長と桐山先生がサロン周りをしていただいたのは、熱心さが通じ、サロンとの距離がぐっと縮まったと思う。また、就職セミナーは同じ業界の神玄からは発信しづらい事なのでとてもよかったと思う。

- ・興味アンケートの中のメイク、ネイルは引き続き人気があるが、ファッションに関心のある学生が増えてきた。

(伊藤先生)インスタを通して、関心度が高くなっていると思う。長野理容美容専門学校の学生であろう人のブログのフォロワー数が非常に高い。美容師でも感心するセンスの良さがある。パーソナルカラーもよいきっかけになると思う。メイクアップアーティストやヘアメイクは相変わらず人気であるが、簡単になれるという思いもあると思う。メイクだけで食べていける人はなかなかいない。

(小出先生)

着付けや、花嫁着付に興味があるということが意外だった。組合も着付け師会があり、分散していたグループを一つにし、初級・中級・上級と統一した資格ができています。資格は取りたいが、高いお金を払ってやっと取れても、ウェディングドレスだけの人が多く、着付けできる機会が少なくなっている。

(伊藤先生)

ナガコレでも着物の良さをもっと伝えていくというのも目的である。

#### 5、平成 30・31 年度からの産学連携授業について

今年度入学の学生が、来年度の 2 年生で選択授業を行う。パーマ・アップ・ネイル・メイクのうち 2 つ選択する。それぞれのカリキュラムを秋にプレゼン後、選択を決定していく。

(伊藤先生)

どれも魅力的な内容で、充実しているが、盛りだくさんの内容を教える先生方も、学生も大変だと感じる。先生方はクラス、専科に加え、資格やコンテストなどにも力を注いでいると思うので、かなりボリュームがあると思う。高校生へのアピールは効果があると思う。

- ・カリキュラムの 1 クール終了した段階で、調整をしていきたい。

#### 6、学生の様子

(2 年生)夏休み明けより、ヘアショーに取り組んでいるが、実技の卒業見込みテストが 11 月 8 日に予定しているので、確認テストや、低位性に対しては放課後練習を行っている。就職活動は積極的な学生は、就職活動に必死になるあまり、学科期末試験では良い結果にならなかった。バランスよく力を注げるように促していきたい。

また、欠席日数の心配な学生が 1 名、学習や実技において、聞いたことを素直に再現できない学生がいる。2 学期終了までに、全員が見込み認定をいただき、最低でも長期休暇に補習をすれば間に合うというところまで持っていきたい。

(1年生)休学、退学者が出てしまっている。精神的に適応できない学生もいるが、人間関係が理由である学生もいる。ちょっと前までは、悩んでいることも分かりやすかったが、皆勤であったり、明るく楽しそうにしていたのに、突然辞めたいと言い出す学生がいる。また、1学期の期末テストで再試不合格の課題が合格できない学生もいる。様々な学生がいる中での、クラス単位で行動するヘアショー製作になってきているので、担任の先生方はかなり気を使いながらやっけていただいている。ヘアショーがいきっかけになればいいと願っている。また、合同授業や姉妹学級なども取り入れていきたい。

(小出先生)

難しい学生が増えていることが伺える。コミュニケーション能力が不足していると思う。ラインやインスタを使うことは上手だが、面と向かうとダメなのかもしれない。

(伊藤先生)

年々デリケートな学生になってきていて、叱るのは難しいと思うが、一般常識は備えておかないといけない。叱るときはしっかり叱る。叱られてもその場では気づかないが、後に繋がっていくと思う。

- ・勤務状況アンケートでは、大変良い評価をいただいている人がいる反面、遊びすぎて体調を崩しやすかったり、ご注意に対しての返答が自分中心の言い訳だったりする人もいるようである。

## 9.業界の現況

(小出先生)

組合では美容師の高齢化が進み、60～70代が6割になってきている。若い人にも入っていただいたり、組合のコンテストなどにも参加していただき、組合も盛り立てていってほしい。

6月24日 長野県が当番である東海北信越 美容技術講習をホクト文化ホールで行う。併せてコミュニケーション接客講習会も行うので、是非参加してほしい。

(伊藤先生)

就職セミナーを行っていただいたことで、美容所同士の刺激や環境づくりを行っていく必要性を持つ経営者が増えたのではないかと思う。求人情報ではお給料もちょっとずつ上げだしている。県外やほかの業種に流れてしまわないよう、手厚さやあったかさに加えて、一般企業並みに待遇を良くし、美容師の仕事の良さ、県内の良さを高校生に向けてアピールしていきたい。

次回予定 第2回教育課程編成委員会 平成31年3月19日(火) 14:00～